

課題を提示

解決策を提案

企業等×学生の環境課題解決 マッチング会 開催

オンライン



横浜市地球温暖化対策推進協議会（以下、推進協議会）と横浜市は、2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」の実現とSDGsの推進に向けて、若者の視点を取り入れるため「企業等×学生の環境課題解決マッチング会」を開催します。

参加企業等が提示した環境課題に対し、7つの市内大学生チームが、事前のヒアリング等調査・研究をした上で具体的な解決策を提案します。

提案された解決策は、**実現可能性**や**独創性**、**CO₂削減効果**などを審査員が総合的に評価し、当日に表彰を行います。

なお、当日は併せて市内高校生チームが環境に関する学習成果の発表を行います。

開催概要

■日時

12月12日（土）13:00～17:00（12:30～アクセス受入開始）

【スケジュール（予定）】

13:00～ 開会

13:35～ 大学生からの解決策提案

15:30～ 高校生からの環境発表

16:05～ 審査結果発表・表彰式

■公開方法

Zoomによる配信（招待制）

■参加申込

横浜市地球温暖化対策推進協議会まで、ご所属、お名前を明記の上、Eメールにてお申し込みください。後日、招待メールをお送りいたします。

◆横浜市地球温暖化対策推進協議会 担当：佐藤、仙保

メール：yokohama@ontaikyo.org

電話：045-681-9910

※取材の場合は裏面のお問合せ先まで事前にご連絡ください。

■実施主体

横浜市地球温暖化対策推進協議会（当事業は横浜市との協定事業として実施します。）

参加学生（大学7チーム、高校4チーム）	
東京都市大学 / 2チーム	フェリス女学院大学 / 2チーム
横浜国立大学 / 3チーム	神奈川県立希望ヶ丘高校 / 4チーム

※高校生は企業への提案ではなく、環境に関する学習成果の発表を行います。

参加企業等（五十音順）	提示した環境課題テーマ
イケア・ジャパン株式会社 IKEA 港北	より多くの方々に、サステナブルな生活により興味を持ち、実際の行動に移してもらうためには？
株式会社エクソル	太陽光発電設備を災害（停電）時でも役に立つ非常用電源として今よりももっと活用していくには、その地域においてどのような取り組みが必要か？
株式会社大川印刷	大川印刷として、『スコープ3』（その他の間接排出量ゼロ化）を実現するため、どのような活動をすれば再生エネルギーの使用やCO2の削減に取り組んでもらえるようになるか？
一般社団法人ツナグマム	「今」の選択の積み重ねが「未来」を作るということを、子育てスタート世代にポジティブにわかりやすく伝えるためのコミュニケーションのあり方とは？
株式会社ティービーエム	サーキュラーエコノミー&脱炭素を実現するTBMシステムを横浜市に拡大展開していくために必要なことは？
株式会社 Loop	脱炭素経営の実現に向けた企業の再生可能エネルギー導入促進に必要なことは？

審査員

- ・ 横浜市地球温暖化対策推進協議会会長 松本 真哉
(横浜国立大学 大学院 環境情報研究院 教授)
- ・ 株式会社神奈川新聞社 春名 義弘
- ・ 横浜市温暖化対策統括本部長 薬師寺 えり子

横浜市地球温暖化対策推進協議会について



横浜市地球温暖化対策推進協議会は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第40条で定められている地域温暖化対策の推進を図るための活動を行う「地球温暖化対策地域協議会」です。平成18年の設立以降、10年以上にわたる活動を行い、平成30年12月には『地球温暖化防止活動環境大臣表彰』を受賞しました。

現在は、約100の会員（横浜市、市内事業者、NPO、地域団体、個人等）が推進協議会に参加し、横浜市が目指すZero Carbon Yokohamaの実現に向けた活動を推進しています。

URL <https://www3.hp-ez.com/hp/np02017>

お問い合わせ先
温暖化対策統括本部調整課担当課長 宮島 弘樹 Tel 045-671-2336